

令和3年度鏡が丘特別支援学校 浦添分校 学校評価及び各アンケート分析と考察

令和4年2月1日 学校評価検討委員会

I はじめに

今年度の学校評価にかかる各アンケートの分析・考察は、アンケート結果を受けて各学部・校務分掌で課題を共有して必要な項目について説明や改善策の検討を行い、学校評価検討委員会でまとめた。各学部での提案、学校評議員への報告、学校評議員による評価と助言を加え、学校内で掲示し、学校ホームページで公開する。

II アンケートの分析と考察

1 教職員自己評価及び保護者アンケート・事務現業アンケートの概要

今年度から、教職員用と保護者用で評価項目の順序や内容に統一感を持たせ、それぞれでの視点での比較検討できるようにした。全てのアンケートに新型コロナウイルス感染症の取り組みに関連した評価項目を設定した。

2 分析方法

- ① ◎ (よくあてはまる) において80%以上の項目は、「特に良い評価」とし、肯定評価とする。
- ② ◎ (よくあてはまる) ○ (ややあてはまる) の合計が80%以上の項目は、「良い結果」の項目とする。
- ③ ◎ (よくあてはまる) ○ (ややあてはまる) の合計が80%未満は、自己評価が「低めの評価」として挙げる。
- ④ 一人でも× (全くあてはまらない) の評価結果であれば、その内容について考察する。

3 対象者と回収率

事務現業職員、教職員 (13名) への無記名アンケートを依頼し、13名が回答 (回収率100%) 保護者9名に対しアンケート配布 (郵送) し、5名が回答 (返信) (回答率55%)

表1 対象者と回収率

	対象	対象者数	回収数	回収率
教職員	教頭 教諭	9名	9名	100%
保護者	全保護者	9名	5名	55%
事務現業	事務現業職員	4名	4名	100%

4 結果のまとめ

(1) 「教職員の結果」

① 特に良い評価 (◎ 80%以上)

1. 本校の教育目標を意識し、児童生徒一人一人の「健康の保持増進」「生活経験の拡大」に向けた教育活動を行っている。

18. 全職員が協働し、法令遵守の徹底(個人情報の保護等含む)に全力で取り組んでいる。

② 低めの評価 (◎・○の合計が80%未満) 及び、×評価の項目

4. 保護者が子供の様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。

③ 上記の自己評価結果より

- ・ 「特に良い評価」 (◎が80%以上) は2項目だが、「良い評価」 (◎・○の合計が80%以上) になるとほとんどの項目が該当し、高い評価となっている。
- ・ 「？」がついた項目を見てみると担任業務に関する内容となっており、これらにチェックした人

は直接的に学級担任業務には関わっていないために、評価が難しかったと推察される。今後も全職員で取り組みについて情報共有をしていきたい。

(2) 「保護者の結果 より」

① 特に良い評価 (◎ 80%以上)

1. 学校は、児童生徒一人一人の「健康の保持・増進」「生活経験の拡大」に向けた教育活動を行っている。
2. 学校はホームページやお便り、公文等で家庭や地域に必要な情報を適切に伝えている。
3. 学校は学習の様子や内容を懇談・学校便り等で適切に知らせている。
4. 学校は保護者が子供の様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている。
6. 学校と沖縄療育園の情報共有は適切で、児童生徒への対応は足並みが揃っている。

② 低めの評価 (◎・○の合計が80%未満) 及び、×評価の項目

14. 火災・地震避難訓練や不審者侵入対策への対応を十分行っている。
16. 学校の徴収金等は、明朗な会計処理が行われている。

③ 上記の結果より

- ・ 「特に良い評価」 (◎が80%以上) は5項目だが、「良い評価」 (◎・○の合計が80%以上) になると多くの項目が該当し、全体的に高い評価となっている。
- ・ 「？」や「無記入」が合わせて18%となり、他の対象者 (教諭・事務現業) よりも多い評価になったのは、保護者が遠方に居住し、学校での様子を直接知ることができないため、回答が難しかったと推察される。保護者にも学校の取り組みを知っていただけるよう、さらなる状況の発信に取り組みたい。
- ・ 多くの項目で無記入回答の方も、「2. 学校はHPやお便り、公文等で家庭や地域に必要な情報を適切に伝えている」「3. 学校は学習の様子や内容を懇談・学校便り等で適切に知らせている」を高評価しており、遠方の保護者にとっては「学校便り・公文等」が学校生活を広く伝えるのに効果的だったといえる。今後も継続し、情報提供に取り組んでいきたい。
- ・ 「14. 火災・地震避難訓練や不審者侵入対策への対応を十分に行っている」については、「？」と「無記入」が回答者の5名中3名と高い。毎回、学校便り等で取り組み内容を報告しているが、お便りだけでは十分かどうかの評価が難しかったと推察される。今後も情報発信に努め、理解を深めていきたい。
- ・ 「16. 学校の徴収金等は、明朗な会計処理が行われている」については、「？」と「無記入」が回答者の5名中2名となっている。学校としては、年度初めに「校納金の納入について」、学年度末には「決算報告書」を各保護者に郵送しお知らせしているが、どのような教材をどの授業にどのようを使用しているかは、紙面では伝わりにくい面がある。また、生徒個々の徴収については、後見人や沖縄療育園が管理している会計とのやりとりがあるため、回答が難しかったと推察される。今後は会計報告の仕方について見直し、情報提供に取り組みたい。

(3) 教職員と保護者の考え方の比較

質問1～4・6は教職員と保護者に同じような質問を行っており、結果の比較が可能である。

- ① 質問1「本校の教育目標を意識した教育活動」については、どちらも「特に良い評価」 (◎ 80%以上) となっている。
- ② 質問2「HPやお便り、公文等で家庭や地域に必要な情報伝えている」については、回答した保護者全員が「特に良い評価」 (◎ 80%以上) としている。教職員も全員が「良い評価」 (◎・○の合計が80%以上) としており、どちらも高い評価となっている。
- ③ 質問3「学習の様子や内容を懇談・学校便り等で適切に知らせている」についても、質問2と同様、回答した保護者全員が「特に良い評価」としている。教職員も全員が「良い評価」としており、ど

ちらも高い評価となっている。

- ④ 質問4「保護者が子供の様子について連絡・相談したことについて適切に対応を行っている」については、全体的には「良い評価」となっている。詳しく見てみると、保護者の8割が「特に良い評価」(◎ 80%以上)としているのに対し、教職員の「特に良い評価」(◎ 80%以上)は3割強となっている。今回のアンケートで、保護者は学校の対応に概ね好評価であることが分かる結果となった。
- ⑤ 質問6「沖縄療育園の情報共有」については、回答した保護者と教職員全員が「良い評価」としており、どちらも高い評価となっている。今後も、沖縄療育園との情報共有を図り、連携を深めていきたい。

(4) 「事務現業職員の結果」

- ① 特に良い評価 (◎ 80%以上)
なし

- ② 低めの評価 (◎・○の合計が80%未満) 及び、×評価の項目

4. 施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している。
5. 業務処理の正確性、計画性を図ることができている。
7. 来客、電話対応は適切に行うことができている。

- ③ 上記の結果より

- ・ 「4. 施設設備の修繕や改善に迅速に対応し、学習環境や職場環境を整備している」で、4名中1名が「△あまりあてはまらない」の評価としている。修繕・改善箇所を確認し、安心安全に学校生活を送れるように取り組んでいく。
- ・ 「5. 業務処理の正確性、計画性を図ることができている」「7. 来客、電話対応は適切に行うことができている」に4名中各1名が「？」評価をしているのは、業務内容の共通理解の不足が推察される。今後も、協力体制を意識しながら取り組むことが求められている。

III 令和2年度の評価を受けての取り組み

令和2年度の保護者、教職員、事務現業、学校評議委員による学校評価では、概ねすべての項目で高い評価であった。その中でも継続課題として、特に次の2点について、今年度は重点的に取り組みを強化してきた。

(1) コロナ禍での感染予防の取り組みと、学びの保障

- ① 沖縄療育園の面会制限の基準に沿って、本校も生徒の入所する病棟別に授業を実施した。担任も病棟別に固定し、感染予防に努めた。
- ② 生活単元学習や学校生活の中で、距離をとりつつお互いの存在を意識できるように、教材教具の配置や、あいさつや言葉かけを心がけ、集団での活動に楽しく参加できるようにした。
- ③ リモートでの交流学習を、校内(各病棟教室)や校外(鏡が丘本校中学部)で実施し、離れていてもお互いに交流ができるようにした。
- ④ 臨時休校など、学校に登校できない期間は、学校で使用した音楽を収録したCDや、浦分祭で編集した「各生徒の日頃の学習の成果」の映像を療育園で活用してもらい、家庭学習とした。

(2) 保護者や沖縄療育園への情報提供

- ① 学校便り「コスモス」の発行や、各担任が発行している個別のお便りに、多くの写真を掲載することで、面会が制限されている中でも学習の様子や取り組みを報告した。
- ② 浦分祭の発表内容を「日頃の学習の成果」にし、学習の経過を映像記録としてDVDにまとめ、各保護者宛に郵送し報告した。